



広報もとみや 号外

平成24年
10月10日発行
本宮市
秘書広報課
☎33-1111

No.23

【市からのお願い】広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。閲覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

野生きのこ・栗

食べる前には測定を!



秋本番となり野生きのこのシーズンを迎えています。これまでの県および市のモニタリング検査の結果から秋の味覚のうち、次の品目の測定値が高めにでる傾向があります。

■野生きのこ

福島県では、昨年度から、野生きのこの放射線物質のモニタリング検査を行っていただきます。その結果、複数の市町村において国の暫定規制値(当時)を超え、放射線物質(当時はシウム)が検出され、放射性

きのこの市町村で採取された野生きのこの摂取および出荷が制限されています。

注意…食中毒防止のため、疑わしい、知らないきのこは採らないでください。

■原木しいたけ(露地)

平成23年以前に植菌された露地の原木しいたけは現在出荷が制限されています。



■山栗

県のモニタリング調査によつて出荷制限となつている区域があります。本宮市は出荷制限となつていませんが、市のモニタリングでも自生している栗から基準値と比較して高いレベルの放射性物質が検出される場合があります。

なお、上記の品目を採取する際には次の点にご注意ください。

▼100ペクレル/kgを超えるものは、出荷や流通の自粛をお願いします。

▼モニタリング結果は新聞や福島県・市のホームページなどで公開されています。

▼自家消費の品目については、市で放射性物質の検査を行っていますので、お問い合わせください。なお、出荷が制限されている野生きのこ、露地の原木しいたけについては、自家消費についても自粛をお願いします。

自生している栗など放射性物質が検出される傾向があるものを食べる場合は、市のモニタリングセンターで測定してからにしましょう。

放射性物質検査の申込先

放射能除染・

モニタリングセンター

☎63-2682

◆問い合わせ先

農政課

☎33-1111

住宅除染

～和田地区の現場から～



住宅除染を進めています！

住宅の除染が進められている和田地区の除染作業についてお知らせします。

最初に住宅に足場を掛け、雨樋の拭き取りから作業に入っています。高所作業車が入る場所では、雨樋の拭き取り作業の効率化が図られるというものでした。

この地区の除染作業で出る土砂などの一時保管場所は、休耕地を利用し1カ所で保管する方法がとられ、それぞれ世帯で一時保管場所は設けずに作業できることから、作業の効率化が図られています。

また、除染作業により、枯葉や表土を除去した場所の線量の値は、除染前の半分から5分の1程度に下がり、除染の効果が認められました。1軒あたりの作業時間は、5日から10日程度となる見込みです。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター

☎63-2682



【写真説明】

- ①足場を組んで2階屋根の雨樋拭きをする除染作業員
- ②住宅付近の法面の放射線量の測定値を見る高松市長(右)
- ③除染作業により出た土砂および草木を一時保管する場所
- ④作業の進捗状況について説明を受ける高松市長(左)

平成24年度米の全量全袋検査の状況

平成24年度米の全量全袋調査実績

平成24年9月30日現在

検査場	農家数	袋数
本宮市地域農業再生協議会 第一検査場	552	7,082
本宮市地域農業再生協議会 第二検査場		8,387
合計		15,469

（早場米を含む）

本宮市地域農業再生協議会では、平成24年度米の全量全袋検査を市内2カ所の検査場で行っています。9月30日までの検査実績について次のとおりお知らせします。
なお、これまで基準値を超えるものはありませんでした。

上尾市幹部職員の見学

9月29日に島村穂上尾市長はじめ幹部職員の皆様が研修のため本宮市を訪れ、えぼかで高松市長の講演を聴講された後、米の全量全袋検査の状況、スマイルキッズパークや除染の現場も視察されました。



（右）米の全量全袋検査の様子を視察しました

（左）住宅除染の現場を視察する上尾市幹部職員の皆さん

インタビュー 除染作業に期待と不安

和田地区では住宅の除染作業が始まりましたが、現在作業を実施している渡辺和彦さん（和田字大谷戸）にお話しを伺いました。

渡辺さん宅は屋根の洗浄は行いませんが、雨樋の拭き取りは終了しています。庭の表土除去は間もなく実施されます。

渡辺さんは、今回の除染作業で出る集落の土砂の一時保管場所を提供するなどして除染作業に協力していただいています。

Q1 渡辺さん宅の放射線量について教えてください。

渡辺…庭先で0.8から0.9マイクロシーベルトです。雨樋の水が集まる土のところは約12マイクロシーベルトでした。

室内1階では、0.23マイクロシーベルトです。

Q2 除染作業はまだ途中ですが、不安な事がありますか？

渡辺…私の家のまわりが山林で囲まれているため、除染後にまた線量上がるのではと心配しています。

Q3 除染作業について、渡辺さんの率直な考えをお聞かせください。

渡辺…放射能に対して、皆さん不安をもっていると思います。原発の事故は、誰しも初めての経験ですが、なるべく早く元の状態に戻していただきたいというのが、今の思いです。



▲宅地内で一番線量の高い場所を指さす渡辺さん

市のホールボディカウンターによる 検査について

現在一般の市民の方を対象に検査を実施しています。

次の地区の方には、ご案内の通知を発送しています。検査を受けていない方は、保健課健康増進係に予約申込をしてください。

- ▽和田地区 ▽長屋地区
- ▽高木地区 ▽仁井田地区
- ▽関下地区 ▽白岩地区
- ▽稲沢地区 ▽松沢地区

今後は、次の順序により順次検査案内を通知させていただきます。

- ▽糠沢地区 ▽荒井地区
- ▽本宮地区（1区～14区）
- ▽青田地区 ▽岩根地区

【本宮市除染計画の除染作業の地区別優先順位により案内しています。】

市のホールボディカウンターの 性能調査について

国の資源エネルギー庁では、（独）放射線医学総合研究所に委託し、県内に設置されているホールボディカウンターの性能調査を行うこととし、本宮市のホールボディカウンターの性能調査については10月2日に実施されました。

国の基準の試料による性能調査を行ったところ、検査精度が約94%～98%で、ホールボディカウンターとしては高精度の数値となりました。この結果、本宮市は非常に信頼性の高い検査が実施できていると、放射線医学総合研究所鈴木敏和先生ならびに仲野高志先生より評価をいただきました。

現在までの市のホールボディカウンターの性能調査では、健康への影響を心配される検査結果の方はおらず、これからも市民の皆さんの安全・安心のため、検査を実施してまいります。

県のホールボディカウンター（重載型） 検査実施中です

県では、県民健康調査の一環として18歳以下の子どものうちの内部被ばく検査を実施しています。

10月から本宮市の子どもたちを対象として検査が行われています。

本宮市では、昨年12月から今年6月までに、4歳から中学生以下のお子さんを対象とした検査が終了してはいますが、前回の検査より概ね半年以上が経過していること、内部被ばく検査は定期的継続して検査を実施することが推奨されていますので、指定の会場で必ず検査を受けてください。

※県実施の内部被ばく検査を都合によりお受けになれなかった方は、保健課にご相談ください。

◆問い合わせ先

保健課 健康増進係
（えぼか内） ☎ 63-2780

水道水のモニタリング検査結果について

市の水道水については、週3回（月、水、金）検査を行っており、放射性物質は検出されていませんので安心してご利用ください。

◆問い合わせ先

上下水道課
☎ 33-1111（内線119）

井戸水のモニタリング検査結果について

飲用の井戸水の測定依頼があった場合は、専門機関へ依頼し、測定を実施していますが、現在まで放射性物質は検出されていません。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター
☎ 63-2682